



# 平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社 井筒屋  
 コード番号 8260 URL <http://www.izutsuya.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務グループ長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福  
 (氏名) 影山 英雄  
 (氏名) 細迫 有文  
 TEL 093-522-3414

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	56,729	△1.5	385	△22.9	△8	—	445	—
29年2月期第3四半期	57,609	△4.5	500	△50.9	48	△89.4	△18	—

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 445百万円 (257.9%) 29年2月期第3四半期 172百万円 (29.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	38.85	—
29年2月期第3四半期	△1.58	—

※当社は、平成28年9月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	60,343	9,884	16.4	862.68
29年2月期	59,203	9,438	15.9	823.77

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 9,884百万円 29年2月期 9,438百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	—	—	0.00	0.00
30年2月期	—	—	—		
30年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,000	△0.8	1,400	0.5	700	△4.1	1,000	64.5	87.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年2月期3Q	11,480,495 株	29年2月期	11,480,495 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年2月期3Q	22,890 株	29年2月期	22,741 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期3Q	11,457,677 株	29年2月期3Q	11,458,269 株
----------	--------------	----------	--------------

※当社は、平成28年9月1日付で普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性のある重要な要因は、当社グループを取り巻く商圏動向、公的規制、自然災害・事故、金利の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年11月30日）におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策等により、企業収益や雇用環境等に引き続き改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国の政策動向、中東や北朝鮮における地政学リスクの高まり、中国を始めとする新興国経済の減速懸念等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

百貨店業界におきましては、富裕層消費やインバウンドの活況から大都市を中心に需要の底堅さが見られた他、気温の低下によりセーターやコートなど秋冬物の衣料品に動きが出てきており、緩やかに復調の兆しが表れてきました。

こうした状況の中、当社グループにおきましては、引き続き将来の成長を見据えた基礎固めとして「井筒屋グループ 中期3ヵ年経営計画（平成28年度～平成30年度）」を推進いたしております。

本店におきましては、昨年春の子供服とリビングフロアのリニューアルに続き、9月に本館5階の紳士服フロアの一部を改装し、紳士洋品・雑貨の品揃えを充実させ、売場環境をリフレッシュいたしました。また、全館で高級ブランドや限定品など百貨店ならではの特別感のある商品を展開した「井華会（せいとかい）」、初企画としてバイヤーおすすめの逸品を本館8階の催場に一堂に集めた「アイ・プラス井筒屋ベストセレクション」を開催いたしました。11月に開催した「人間国宝十四代今泉今右衛門展」では貴重な作品の数々を展示し、ご好評いただきました。

黒崎店におきましては、2階の婦人雑貨フロアを一部リニューアルし、オーガニック化粧品ショップの「エクランナチュレ」、インポート婦人服の「Mコレクション」を新規オープンするなど、新規顧客の獲得に取り組んでまいりました。

サテライトショップにおきましては、8月オープンの「イオンモール直方ショップ」に続き、10月に「ゆめタウン行橋ショップ」を新規オープンし、地域のお客様大変ご好評いただいております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は56,729百万円（前年同期比98.5%）、営業利益は385百万円（前年同期比77.1%）となり、経常損失は8百万円（前年同期は48百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益に固定資産売却益128百万円を計上したことや「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」を適用したこと等により法人税等調整額として396百万円の利益計上をしたことから、445百万円（前年同期は18百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,139百万円増加し、60,343百万円となりました。これは主に有形固定資産が975百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が1,142百万円、商品が614百万円増加したこと等によるものであります。

負債については前連結会計年度末に比べて694百万円増加し、50,458百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が1,119百万円及び前受金が714百万円増加したものの、借入金が1,458百万円減少したことによるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べて445百万円増加し、9,884百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成30年2月期の業績予想につきましては、平成29年4月11日公表の通期業績予想から変更はありません。

(注) 上記の業績予想は、この資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。
- (4) 追加情報  
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)  
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)  
を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,462	6,473
受取手形及び売掛金	1,755	2,898
商品	3,201	3,816
貯蔵品	26	20
その他	700	1,036
貸倒引当金	△15	△23
流動資産合計	12,130	14,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,535	13,876
土地	25,788	25,276
その他(純額)	436	632
有形固定資産合計	40,760	39,785
無形固定資産		
	183	243
投資その他の資産		
差入保証金	3,797	3,752
その他	2,508	2,523
貸倒引当金	△177	△183
投資その他の資産合計	6,128	6,092
固定資産合計	47,072	46,121
資産合計	59,203	60,343

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,444	7,564
短期借入金	11,446	11,333
未払法人税等	126	167
前受金	7,906	8,620
その他の引当金	318	422
その他	3,805	4,011
流動負債合計	30,049	32,120
固定負債		
長期借入金	13,644	12,298
再評価に係る繰延税金負債	3,001	2,874
商品券回収損失引当金	716	722
退職給付に係る負債	1,252	1,178
資産除去債務	469	477
その他	631	786
固定負債合計	19,715	18,338
負債合計	49,764	50,458
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,532	10,532
資本剰余金	11,904	11,904
利益剰余金	△18,984	△18,242
自己株式	△27	△27
株主資本合計	3,424	4,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	26
土地再評価差額金	6,063	5,766
退職給付に係る調整累計額	△75	△76
その他の包括利益累計額合計	6,013	5,717
純資産合計	9,438	9,884
負債純資産合計	59,203	60,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	57,609	56,729
売上原価	43,705	43,159
売上総利益	13,904	13,569
販売費及び一般管理費	13,403	13,183
営業利益	500	385
営業外収益		
受取利息	6	6
持分法による投資利益	41	50
協賛金収入	66	57
未回収商品券受入益	228	218
受取賃貸料	47	49
その他	123	133
営業外収益合計	515	515
営業外費用		
支払利息	388	356
売上割引	287	291
商品券回収損失引当金繰入額	140	136
地代家賃	5	5
その他	145	120
営業外費用合計	966	909
経常利益又は経常損失(△)	48	△8
特別利益		
固定資産売却益	—	128
事業譲渡益	—	57
特別利益合計	—	185
特別損失		
固定資産売却損	67	—
固定資産除却損	22	10
会員権評価損	0	—
特別損失合計	90	10
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△41	166
法人税、住民税及び事業税	19	117
法人税等調整額	△43	△396
法人税等合計	△23	△278
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	445
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	445



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△2
土地再評価差額金	201	—
退職給付に係る調整額	△4	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	4
その他の包括利益合計	190	0
四半期包括利益	172	445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172	445
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。